

新基準クリア原発でも再稼働はNO!

福島地裁（樋口英明裁判長）は、4月14日、関西電力高浜原発3、4号機再稼働禁止の仮処分を決定。即時に効力をもち、当面、再稼働はできません。原子力規制委員会の新規基準は緩やかすぎ、合理性を欠き、安全性は確保できないとの判断は妥当です。司法の歯止めが続くでしょうか。

「原発はいらない！」という私たち一人ひとりの意思がある。

電力自由化で原発新增設は困難に

原発は高コスト、高リスクで採算がとれない

国支援策はNO

原発と火力発電にかかる費用

建設費	原発	火力
	4200億円 120万キロワット級	1620億円 天然ガス火力 135万キロワット級
廃炉・廃止	期間 20~30年	1~2年
	費用 550億~ 830億円	最大30億円 50万キロワット以下

さらに増える可能性も

- 事故時の損害賠償費用
- 追加の安全対策費用
- 核燃料サイクル費用など

自由化が進むと、費用を回収できず新增設が困難に？

表資料：朝日新聞2015年3月13日朝刊
「教えて！電力自由化6 原発の新增設、費用回収できる？」

現在、発電経費は電気料金で回収できるが、2016年4月の電力自由化後はそうはいかない。高コストの原発は価格競争に負ける。そこで政府は電力業界支援のため、原発建設費と廃炉費用回収のための「基準価格」を設定し価格保障する特別扱いの制度導入を図ろうとしている。原発温存策はNOだ。

原発稼働状況

2015年4月10日現在
(赤字は東京電力) 単位(基)

電力会社	発電所	停止中	運転中	再稼働申請中
北海道	泊	3		3
東北	東通	1		1
	女川	3		1
東京	福島第一	* (6)		
	福島第二	4		
	柏崎刈羽	7		2
原電	東海第二	1		1
中部	浜岡	3		1
北陸	志賀	2		1
原電	敦賀	1*(1)		
	美浜	1*(2)		
関西	大飯	4		2
	高浜	4		2済
中国	島根	1*(1)		1
四国	伊方	3		1
九州	玄海	3*(1)		2
	川内	2		2済
合計		43	0	20

*事故炉4基を含む11基が廃炉済
済：原子力規制委員会審査済

集会・デモコース案内



米海軍『トモダチ作戦』水兵 米法廷で東電等に被曝に対する損害賠償1,200億円請求 (被害者救済のための基金創設を求める代表訴訟)

2011年3月11日、水兵約5,000人が乗船する米海軍原子力空母ロナルド・レーガンは韓国へ航行中、東日本大震災の急報を受け、被災者支援のために進路変更し12日、三陸沖に到着。午後3時過ぎに福島第一原発1号機が水素爆発。13日は西風で、放出された放射能は陸から海へ流れ、その中に同空母は入ったとみられている。放射線探知機の警報が鳴ったが、水兵らには伝えられず、吹雪の中甲板で5時間通常作業を続けたという。

体調不良で退役した元水兵らが東電・原子炉メーカー等を訴えた(原告第1次2012年12月8人→第3次2014年11月239人)。すでに2名が骨髄肉腫、急性リンパ性白血病等で亡くなり、軍報告書によると約2,000人に体の異常が見られるという。南カリフォルニア州連邦地裁で本格的審理が始まるそうだ。報道は乏しいが原発事故被曝による健康被害を争う裁判に注目したい。

なお、同空母は9月横須賀配備になるという。